

広報

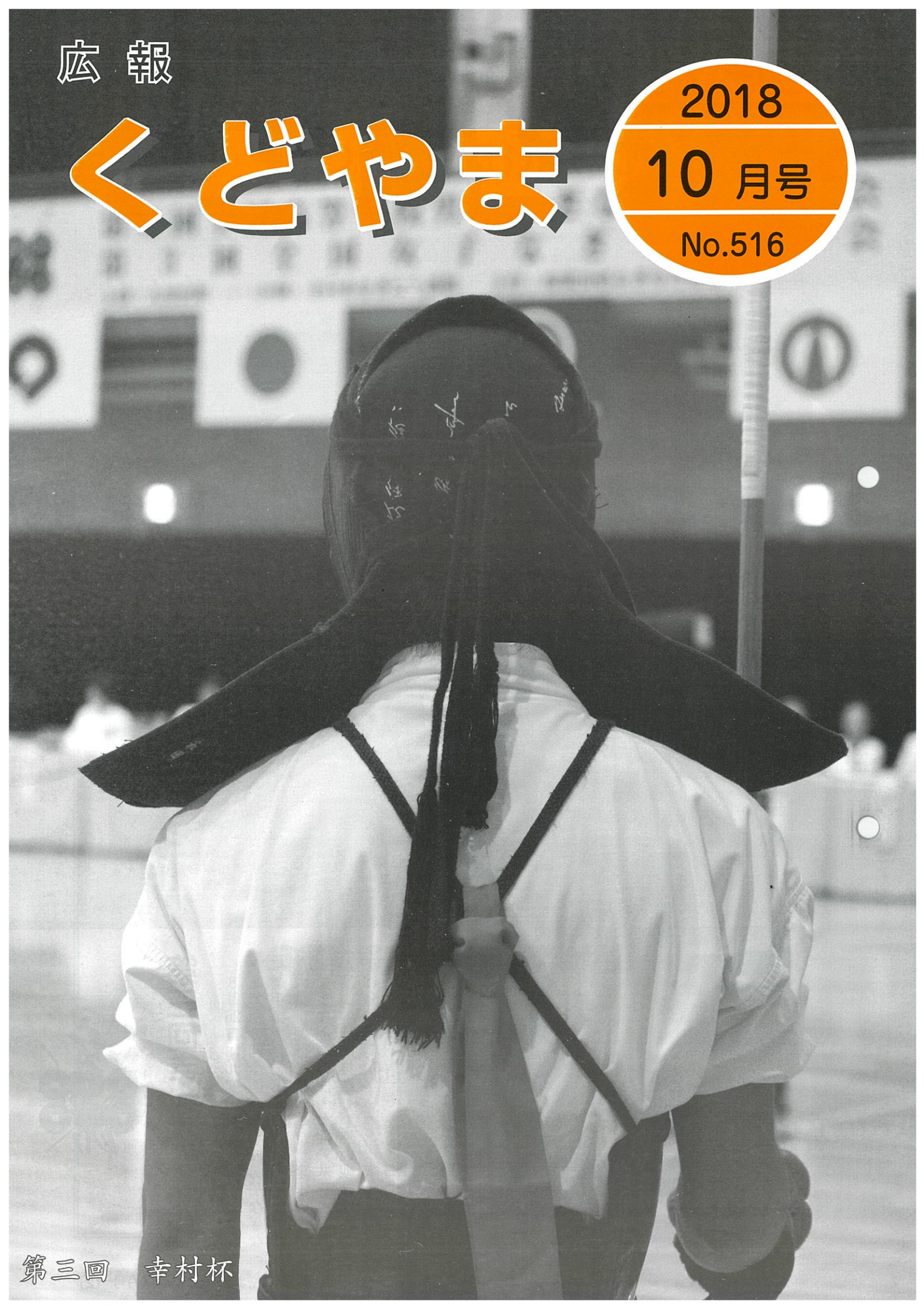
くどやま

2018

10月号

No.516

第三回 幸村杯



敬老の日

いつまでもお元気で

敬老会を開催

9月の敬老の日にちなみ、9月8日に九度山町敬老会がふるさとセンターにおいて開催されました。

敬老会では、九度山保育所、九度山幼稚園の園児たちが、舞台の上で和太鼓演奏や歌などほほえましい演目を披露しました。また、唄と笑いのバラエティショーと題して、漫才コンビのすみたにさん、演奏で津軽三味線、そっくりショーとして中谷健さんの3組が舞台を盛り上げてくれました。



▲歌に合わせて一緒に踊る皆さん

会場は、大きな笑いや拍手に包まれ、参加された皆さんは、時間が経つのも忘れて、楽しいひとときを過ごしました。

なお、9月1日現在、町内には75歳以上の方は1,105名おられ、そのうち80歳以上の方は、747名おられます。皆さまのご長寿をお祝い申し上げます。



▲九度山保育所の子どもたちによる和太鼓の演奏



▲九度山幼稚園の子どもたちによる歌の披露

町長が最高齢者を激励訪問

9月11日、岡本町長が町内の男女の最高齢者を訪問し、記念品をお渡しして、長寿をお祝いしました。

9月1日現在、町内で100歳以上の方は3名です。今年の最高齢者は、男性が森藤良一さん99歳（中古沢）、女性が河合ナラ子さん102歳（椎出）です。

いつまでもお元気で長生きしてください。



▲森藤良一さん



▲河合ナラ子さん



開会式の様子

8月26日に九度山文化スポーツセンターで第3回全国高等学校男子なぎなた選手権大会・第3回全国女子なぎなた大会が開催されました。全国各地からなぎなたの男性・女性アスリートが九度山の地に集結し、熱い戦いが繰り広げられました。

第三回幸村杯を開催





8月22日(水)に第29回きのくに杯ジュニアソフトテニス選手権大会が橋本市運動公園テニスコートで開催され、優秀な成績を収めました。

- Bクラス 男子の部
 - 優勝 木上 漣(4年)・海堀 大翔(4年) ペア
 - 第三位 柏木 奏良(6年)・中西 温映(5年) ペア
- Bクラス 女子の部
 - 優勝 兒玉 千咲帆(5年)・玉置 陽菜(6年) ペア
 - 第三位 狭間 涼帆(5年)・井上 優衣奈(3年) ペア

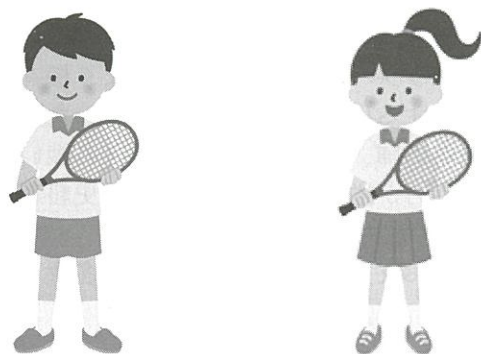
8月25日(土)に第14回龍野ジュニア研修トーナメントが兵庫県たつの市川原公園テニスコートおよび揖保郡太子町総合公園等で開催され、優秀な成績を収めました。

- 女子の部
 - 準優勝 玉置 陽菜(6年)・北村 朱寿加(4年) ペア



9月2日(日)に奈良育英カップ2018が奈良市ならでん鴻ノ池テニスコートで開催され、優秀な成績を収めました。

- 4年生以下 男子の部
 - 第三位 木上 漣(4年)・海堀 大翔(4年) ペア
 - 第三位 中邑 夢弥(3年)・林 寿李稀(3年) ペア



「くどやま森の童話館」10月・11月イベントのお知らせ

◎わかやま けん 原画展

※「しろくまちゃん」や「こぐまちゃん」シリーズでおなじみの絵本作家

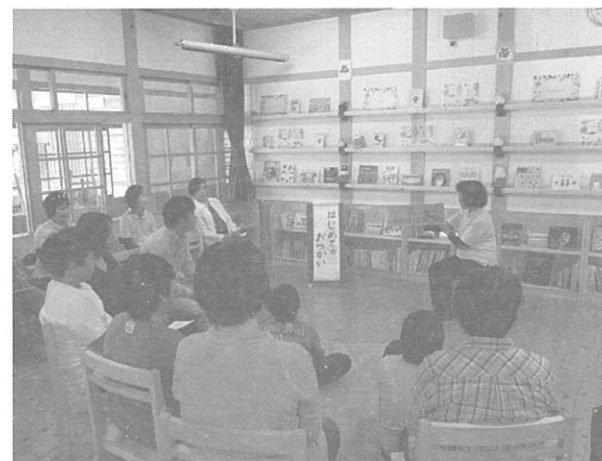
- (1) 期間：10月20日(土)～11月11日(日)までの土曜・日曜・祝日
 - ※ただし、期間中の11月9日(金)午前中は、出張森の童話館として九度山小学校・九度山幼稚園へ移動
- (2) 場所：くどやま森の童話館(九度山町久保379)
- (3) 開館時間：9:00～16:30
- (4) 入場無料

わかやま けん氏の「しろくまちゃんのほっとけーき」は293万部の大ヒット作品でたくさんのお子どもたちに読み親しまれています。この機会に是非、原画の世界にふれてみてください。

◎童話館 読み聞かせ会

- (1) 日時：11月17日(土)午後1時30分～2時20分
- (2) 場所：くどやま森の童話館(九度山町久保379)
- (3) 演者：朗読くらぶ「ひかり」のみなさん

※わかやまけん氏の作品管理団体「赤とんぼ」より絵本表紙絵の写真掲載許可を得ております。



九度山ジュニアソフトテニスクラブが優秀な成績

第26回近畿小学生選手権ソフトテニス大会が8月11日(土)～12日(日)に大阪府岸和田蜻蛉池公園テニスコートで開催され、九度山ジュニアソフトテニスクラブが県代表の一員として優秀な成績を収めました。

- 団体戦 男子の部 研修大会
 - 優勝 和歌山県Cチーム
 - ・福岡 直翔(5年)、中西 温映(5年)、海堀 大翔(4年)、中邑夢弥(3年)



■九度山・真田ミュージアム夏期特別企画展

全日本刀匠会近畿地方支部展

「武士の魂『日本刀』近畿の現代刀匠による技と美」開催レポート

九度山・真田ミュージアムでは、夏期特別企画展として、8月1日（水）から9月2日（日）まで、全日本刀匠会近畿地方支部の皆様方の協力を得て、「武士の魂『日本刀』近畿の現代刀匠による技と美」を開催しました。

戦国武将たちは、刀を武器としてだけでなく、精神的な支柱としており、真田信繁（幸村）も愛刀家であったと伝わっています。世界でも美術工芸品として評価の高い日本刀を、卓越した伝統技術を受け継ぐ全日本刀匠会近畿地方支部の皆様方が一生懸命鍛えた作品（太刀、打刀、劔、脇指、短刀や鐵扇等を主に新作23点）を展示しました。会期中は、約4,000名の方々が来館されました。

作品展示について、来館された愛刀家の方は、「刀劔の展覧会で23点もの現代刀が展示されることは珍しい。いずれも洗練された美しく魅力的な形で、存在感のある輝きを放っています。素晴らしい出来です。刀匠の皆さん全員熱心に作刀されています。」と話してくれました。

また会期中に行った「刀匠によるギャラリートーク—刀匠と話そう—」では、大勢の方々が、刀匠の皆様方からの刀劔の種類、肌や刃文の違いなどについての説明に熱心に聞き入っていました。

ギャラリートークに参加された来館者の方からは、「日本刀は、武器として時代と共に形が変遷し、戦国時代には、数々の名刀が生まれ、このことから、あらためて日本刀は、日本人のたゆまぬ努力の結晶なのだとわかりました。」との声や、「私達が普段何気なく使っている言葉の中にも、刀が元になっている言葉がたくさんあり、刀が私達の生活に密着していたことを教えられました。まさに日本刀は、日本人が世界に誇れる文化遺産だと認識しました。」との声を笑顔でいただきました。

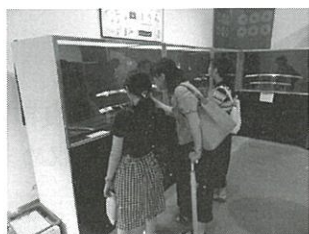
そして、「近畿で多くの方々が作刀しておられ、技術の高さはもとより、刀匠の皆様方の努力にあらためて敬意を表します。今後、是非ともこの技術を継承してください。」とお言葉もいただきました。

また刀匠の皆様方は、「今回、来館者の方々に『日本刀』について説明するまたとない機会に恵まれました。ありがとうございます。」と話してくれました。

会期中の毎週土・日曜日に行った「刀匠による銘切り」では、来館者が購入したプレートに自分の名前等を刀匠の皆様方に彫っていただきました。

銘切りを体験した来館者の方は、「今日は家族で来ました。銘切りの様子も撮影させていただきましたが、刀匠の皆様方が彫っている姿は、とても格好よかったです。プレートは、良い記念になります。楽しかったです。」とうれしそうに話してくれました。

今回の夏期特別企画展開催には、全日本刀匠会近畿地方支部の皆様方に、大変お世話になりました。紙面にて厚く御礼申し上げます。今後、皆様方のご活躍をご祈念申し上げます。



▲展示作品に見入る来館者



▲ギャラリートーク

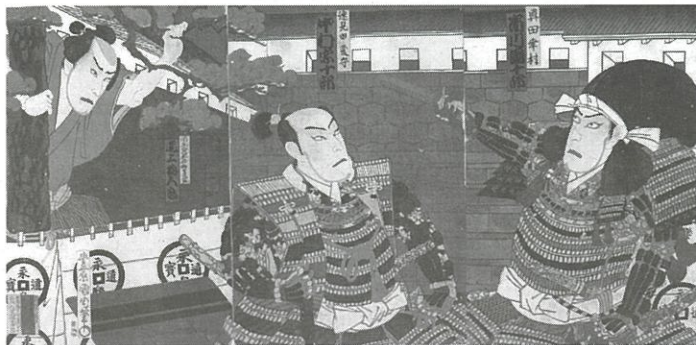


▲刀匠による銘切り

■九度山・真田ミュージアム企画展「これが真田丸だ！」第2期開催

「これが真田丸だ！」第2期は、9月5日（水）から来年の3月31日（日）まで開催します。第1期同様に「真田丸」の全貌と強さの秘密を、ジオラマやグラフィックパネル・映像などにより様々な角度から解明するほか、「真田丸」を築いた真田幸村と大坂冬の陣、夏の陣での徳川軍との戦いの様子や真田幸村が描かれた錦絵など展示史料を替えながら幸村の魅力を紹介します。

ぜひご家族・お友達お誘いあわせのうえ多数ご来館ください。



▲錦絵「真田幸村 茶臼山凱歌陣立」